

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2019

北東アジア地域の青少年を対象に、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を通じて相互の友好と理解を促進し、グローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成することを目的として実施した。

1 実施日

2019年8月6日(火)～7日(水)

2 実施場所

ロシアハバロフスク地方

3 主催等

- ・主催：ハバロフスク地方、富山県
- ・主管：公益財団法人環日本海環境協力センター

4 参加者

北東アジア地域の中高生等68名（4か国8自治体）

- ・日 本：6名(富山県6名：富山国際大学附属高校と中央農業高校から3名ずつ参加)
- ・中 国：8名(遼寧省8名)
- ・韓 国：16名(江原道5名、忠清南道5名、慶尚南道6名)
- ・ロシア：38名(沿海地方6名、ハバロフスク地方27名、トムスク州5名)

5 テーマ

水は生命である

6 内容

(1) 開会挨拶

- ・ハバロフスク地方副知事 アレクサンドル・フェドソフ
- ・富山県生活環境文化部長 横井三知貴



フェドソフ副知事



横井次長

(2) 参加者による活動発表(各自治体のタイトルをクリックすると資料が表示されます。)

自治体	タイトル
富山県	食と農と環境を結ぶ環境創造型水稻栽培への新提案
遼寧省	生活汚水から洗剤汚染を減らすための考えと提案
江原道	春川高等学校環境サークル(STEAM) 活動レポート
忠清南道	青少年ブルーカーボン体験教育プログラム
慶尚南道	底生大型無脊椎動物調査を通じた黄江のモニタリング
沿海地方	小川、池、湖保護活動への参加
ハバロフスク地方	水環境保全活動は我々にもできることだ。
トムスク州	特別自然保護地区「サムスイ町の湖群」はロシアの財産である。



発表会場
(ハバロフスク地方政府迎賓館)



活動発表
(富山県：中央農業高校)

(3) 環境体験活動等

チョウザメの養殖場での体験活動、植樹、アムール川の視察など



チョウザメの養殖場



植樹

(4) 閉会式・交流会

○閉会式において、各国の代表者が「環境宣言文」を発表

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2019 環境宣言文

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業に参加した日本・中国・韓国・ロシア4か国の代表である私たちは、「水は生命である」をテーマに、水環境や水生生物を含む自然環境の保全、地球温暖化対策に関する意見交換・情報共有、天然資源を回復する体験活動などを通して、環境問題の緊急性やその問題を解決する対策の必要性を強く認識しました。

地球は、生命を育む水の惑星であり、私たちの共有財産です。豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくため、すべての自治体をはじめ、市民が環境の改善・保全や天然資源の保護に取り組むことが必要であると私たちは認識しました。

私たちは、自然を大切にすること、環境保全活動に積極的に参加すること、地域の市民を環境保全活動に巻き込むことを誓います。

ハバロフスク地方

2019年8月7日

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業参加者一同

○交流会において各国参加者が出し物を披露



環境宣言文の発表
(富山県：富山国際大学附属高校)



交流会
(富山県：おわらを披露)